

情報 アクセシビリティ フォーラム2015

2015年12月12日(土)13日(日)

東京・秋葉原UDX他

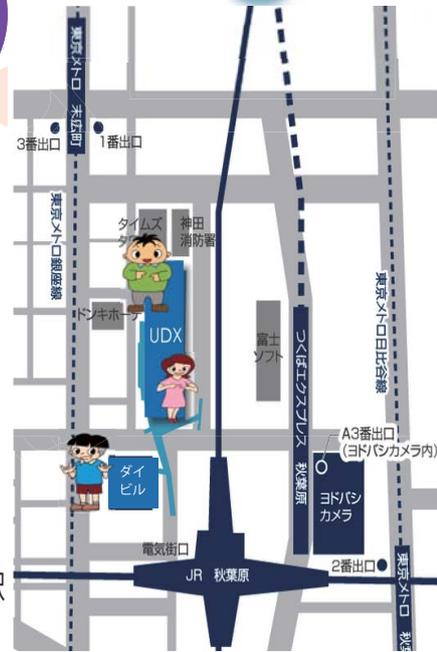
秋葉原駅徒歩2分

JR山手線・京浜東北線・総武線、
つくばエクスプレス・東京メトロ日比谷線

入場
無料

音をつかむ!
未来をつかむ!

各会場に手話通訳・文字通訳
を用意しています。



学ぶフロア ワークショップ

場所：UDX ビル4階
UDX ギャラリー
時間：12日(土)13時半~17時半
13日(日)10時~16時半

みんなでつくろう 情報アクセシビリティ

- WS1** 働きやすい職場づくり
- 事例をもとに必要な支援を議論しましょう-
- WS2** 手で創るアート(1)
- 手話のポエム的な表現を一緒に創りましょう-
- WS3** 誰にでもすぐ電話できる環境づくり
- リレーサービスを体験してみましょう-
- WS4** 手で創るアート(2)
- リズミカルな手話表現を一緒に楽しみましょう-
- WS5** みんなで関わる大学の授業づくり
- 合理的配慮のある授業を一緒に作りましょう-



学ぶフロア カンファレンス

場所：ダイビル2階
秋葉原コンベンションホール
時間：12日(土)10時~17時
13日(日)10時~17時

みんなで考えよう 情報アクセシビリティ

- S1** 情報アクセシビリティへの挑戦
- 音声情報を視覚化する企業等の取り組みを考えましょう-
- S2** 私たち当事者団体のチャレンジ
- 情報アクセシビリティの課題を考えましょう-
- S3** 障害者スポーツのチャレンジ
- TOKYO2020で盛り上がるスポーツの多様性を考えましょう-
- S4** 企業のチャレンジ
- 自分の力を最大限に発揮できる環境づくりを考えましょう-
- S5** 自治体のチャレンジ
- 手話言語条例で目指す情報アクセシビリティを考えましょう-
- S6** 国のチャレンジ
- 情報アクセシビリティの面から障害者政策を考えましょう-



感じるフロア

場所：UDX ビル2階
アキバ・スクエア
時間：12日(土)10時~18時
13日(日)10時~15時

みんなで感じよう 情報アクセシビリティ

- 国内の情報アクセシビリティに関する最先端の技術・情報機器・サービスの展示。最先端のどのような技術が展開されているか実際に見たり、感じたりすることができます。
- 聞こえないバリアとは、そして誰でもアクセス出来る環境とは?の啓発展示&ミニステージ
- 全国各地のお国自慢コーナー
- 書籍コーナー 等

※最新情報は、日本聴力障害新聞や下記ホームページでお知らせ致します。



学ぶフロア



スマ子さん

ワーク ショップ

「みんなでつくろう 情報アクセシビリティ」

定員150名 事前申込方式(下記参照)

会場:UDXギャラリー
UDXビル(4階)

※内容と定員は変更する場合があります。

12月12日(土)

13:30~15:00

WS1 働きやすい職場づくり 高校生以上
職場で電話が出来ない、来客対応が出来ない、自分の仕事と全体の関わりがわからないなどの悩みをどのように解決したらよいでしょうか。このワークショップでは、永井紀世彦氏(社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会)司会のもと、グループに分かれていくつかの事例を検討し、聴覚障害者にとってよりよい職場づくりのあり方を考えます。

聴覚障害のある社会人、聴覚障害者を雇用する企業等、聴覚障害者の就労支援関係者など幅広いみなさんのご参加を歓迎します。

16:00~17:30

WS2 手で創るアート(1) 小学生以上
手話を美しく表現する方法を学びませんか。早瀬憲太郎氏(早瀬塾経営・映像作家)の司会で、ゲストに庄崎隆志氏(風の器代表)と小泉文子氏(日本ろう者劇団俳優)をお迎えし、豊かな手話の表現を学びます。

手話パフォーマンス甲子園の鳥取県代表・鳥取県立鳥取聾学校高等部の生徒による高校野球をテーマにした寸劇発表も予定されています。

ワークショップの事前予約について

参加ご希望の場合は、①名前(ふりがな)②住所③メールアドレス、TEL、FAXのいずれか④希望ワークショップ名⑤情報保障(手話・音声・筆記・触手話・接近手話・指文字)を03(3267)3445にFAX頂くか

<http://www.jfd.or.jp/iaf/ws-reservation>より入力フォームで申し込んで下さい。折り返し、当日のご案内をFAXまたはメールで連絡いたします。

12月13日(日)

10:00~11:30

WS3 誰にでもすぐ電話できる環境づくり 高校生以上
日本財団のモデルプロジェクトで始まっている電話リレーサービスを実際に体験して、聴覚障害者がいつでも電話できる、より良い環境づくりを考えます。井上正之氏(国立大学法人筑波技術大学)がコーディネーター。コメンテーターに、伊藤芳浩氏(NPO法人インフォメーションギャップバスター理事長)と高岡正氏(一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会相談役)が予定されています。

12:30~14:00

WS4 手で創るアート(2) 小学生以上
手話をリズミカルに、大きく表現してみませんか。手話パフォーマンスで活躍中のHANDSIGN(ハンドサイン)をお迎えし、みんな一緒に身体全体を動かして手話表現にトライします。第2回手話パフォーマンス甲子園優勝の奈良県立ろう学校高等部の生徒によるパフォーマンスも発表されます。コーディネーターは早瀬憲太郎氏(早瀬塾経営・映像作家)。

15:00~16:30

WS5 みんなで関わる大学の授業づくり 高校生以上
大学で聴覚障害のある学生が授業担当の教員に配慮をしてほしい時にどのようにお願いしたらよいのでしょうか。吉川あゆみ氏(関東聴覚障害学生サポートセンター)のコーディネーターで、合理的配慮の時代に学生自身、大学の教職員、また、周りの私たちがやるべきことは何かを、ロールプレイを通して考えます。コメンテーターに白澤麻弓氏(国立大学法人筑波技術大学)。聴覚障害学生自身のほか、保護者、大学教職員、特別支援学校教員など幅広いみなさんのご参加を歓迎します。

協力:関東聴覚障害学生サポートセンター

「みんなで考えよう 情報アクセシビリティ」

定員350名 当日、ダイビルのカンファレンス受付にて整理券(座席指定)を配布します。入替制となります。

会場：秋葉原コンベンションホール
ダイビル(2階)

学ぶフロア

カンファ レンス



あいてい君

12月12日(土)

10:00~12:00 (整理券配布9:00~)

S1 情報アクセシビリティへの挑戦

テレビCM、公共交通機関、製品などで、聴覚障害者が必要とする情報アクセシビリティに挑戦している企業や団体の取り組みを学び、現状の課題と今後の展望を考えます。

コーディネータ：佐川賢氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

報告：森川美和氏(公益財団法人共用品推進機構)

報告：澤田大輔氏(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

報告：松森果林氏(ユニバーサルデザインアドバイザー)

13:00~14:30 (整理券配布11:30~)

S2 私たち当事者団体のチャレンジ

情報アクセシビリティとはどのようなことなのでしょう。聴覚・視覚に障害のある当事者団体がそれぞれの取り組み、課題や要望をアピールします。

コーディネータ：小中栄一(一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長)

基調報告：石野富志三郎(一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長)

報告：新谷友良氏(一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合理事長)

報告：鈴木孝幸氏(社会福祉法人日本盲人会連合副会長)

報告：福島智氏(社会福祉法人全国盲ろう者協会理事)

15:30~17:00 (整理券配布14:00~)

S3 障害者スポーツのチャレンジ

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは情報アクセシビリティの充実が期待されています。障害者スポーツのさらなる発展と多様性、当事者が望むスポーツ環境の実現について議論を深めます。

コーディネータ：及川力氏(国立大学法人筑波技術大学名誉教授)

記念講演：鳥原光憲氏(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会会長)

パネラー：太田陽介(一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員長)

パネラー：河合純一氏 パラリンピアン 金5・銀9・銅7

パネラー：竹島春美氏 デフリンピアン 金9・銀3

12月13日(日)

10:00~11:30 (整理券配布9:00~)

S4 企業のチャレンジ

聴覚障害者が自分の力を最大限に発揮できる環境づくりを、「企業経営」「就労支援」「労働行政」それぞれの視点で考察します。事例を含めた議論を通して、聴覚障害者のキャリア形成、就労支援、合理的配慮等のあるべき姿について、フロアを含めた参加者の間で意識を共有します。

コーディネータ：石原保志氏(国立大学法人筑波技術大学副学長)

パネラー：遠藤和夫氏(日本経済団体連合会 労働政策本部統括主幹)

パネラー：小林信氏(全国中小企業団体中央会 労働・人材政策本部長)

パネラー：小林武弘氏(ハローワーク品川障害者専門支援員)

パネラー：岩山誠氏(鹿児島大学大学院・元ハローワーク職員)

12:30~14:30 (整理券配布11:00~)

S5 自治体のチャレンジ

手話言語法制定運動の国民的な広がりは、多くの自治体による手話言語条例・情報コミュニケーション条例の制定という大きなうねりを作り出しました。自治体長が一堂に会し、情報アクセシビリティの構築に向けて成果と課題を議論します。

コーディネータ：長谷川芳弘(一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長)

講演：平井伸治氏(鳥取県知事)

パネラー：田岡克介氏(北海道石狩市長)、泉房穂氏(兵庫県明石市長)、品川萬里氏(福島県郡山市長)、浜田正利氏(北海道新得町長)、宮本泰介氏(千葉県習志野市長)、安田正義氏(兵庫県加東市長)

15:30~17:00 (整理券配布14:00~)

S6 国のチャレンジ

国連「障害者権利条約」批准により、政府で法整備が進み、来年4月には障害者差別解消法が施行されます。手話通訳制度や電話リレーサービス事業等、情報アクセシビリティは障害者政策の中でどのように位置づけられるのでしょうか。行政の報告とパネルディスカッションで、国の動向を学び、次の取り組み課題を一緒に考えます。

コーディネータ：黒崎信幸氏(社会福祉法人全国手話研修センター理事長)

講師・パネラー：詳細が決まり次第ホームページでお知らせします。

感じる フロア



あくせす君

「みんなで感じよう 情報アクセシビリティ」

会場:アキバ・スクエア

UDXビル(2階)

2015年12月12日(土) 10:00~18:00

12月13日(日) 10:00~15:00

「情報通信・放送・映像コーナー」

- ・聴覚障害者の生活向上に寄与する最新技術の紹介、情報アクセシビリティにかかわる機器、サービスを紹介します。

＜出展事業者＞ (順不同)

株式会社プラスヴォイス・シャムロックレコード株式会社/国立大学法人筑波技術大学/公益財団法人日本財団/鳥取県/石狩市/株式会社自立コム/株式会社ケイ・シー・シー/株式会社東京信友/国立研究開発法人情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター/NHK放送技術研究所/株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー/ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社/KDDI株式会社/株式会社アイセック・ジャパン/NPO法人安心安全ネットワークきずな/社会福祉法人日本聴導犬協会/ダブル・ピー株式会社/株式会社エクシオテック/株式会社第一生命経済研究所/情報通信アクセス協議会/Palabra株式会社/NPO法人CS障害者放送統一機構/特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク/公益財団法人ダスキン愛の輪基金/社会福祉法人全国盲ろう者協会/社会福祉法人全国手話研修センター/一般社団法人日本手話通訳士協会/一般社団法人全国手話通訳問題研究会

「啓発・企画コーナー」

- ・聴覚障害者がなぜ情報アクセシビリティを必要とするのか?どのような情報アクセシビリティがあるのか?を理解できるコーナー
- ・全日本ろうあ連盟の活動紹介・聴覚障害者制度改革推進中央本部の活動紹介・防災活動・ろう者のスポーツ活動紹介など

「関連展示・販売コーナー」

- ・全日本ろうあ連盟には全国47都道府県のろう協会が加盟しています。その中から数協会が地元で独自に販売しているグッズや書籍を紹介・販売します。また、それぞれの地域ならではの活動を紹介します。
- ・聴覚障害者や手話関連の書籍を多数揃えた書籍販売コーナーもあります。



(写真はいずれも前回フォーラムより)

UDX(4階) ネクスト 2 にて

『手話言語法特別展』も同時開催中です。お立ち寄り下さい!

助成 公益財団法人日本財団 **特別協力** 国立大学法人筑波技術大学

特別協賛 鳥取県/石狩市(北海道)/郡山市(福島県)/加東市(兵庫県)/篠山市(兵庫県)/松阪市(三重県)/嬉野市(佐賀県)

後援 内閣府/総務省/外務省/文部科学省/厚生労働省/経済産業省/国土交通省/群馬県/東京都/神奈川県/徳島県/萩市(山口県)/新得町(北海道)/鹿追町(北海道)/全国知事会/全国市長会/全国都道府県議会議長会/公益財団法人共用体推進機構/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団/一般社団法人日本経済団体連合会/日本商工会議所/全国中小企業団体中央会/中小企業家同友会全国協議会/一般財団法人日本ITU協会/一般社団法人国立大学協会/一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会/一般社団法人情報通信技術委員会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人電気通信事業者協会/日本放送協会/一般社団法人日本民間放送連盟/全国字幕放送普及推進協議会/字幕付きCM普及推進協議会/社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団/社会福祉法人読売光と愛の事業団/公益財団法人日本テレビ小嶋文化事業団/公益財団法人テクノエイド協会/一般社団法人日本補聴器工業会/一般社団法人日本補聴器販売店協会/一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会/一般社団法人映画産業団体連合会/公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

協賛 パイオニア株式会社/住友商事株式会社/電通ダイバーシティ・ラボ/グーグル株式会社

協力 一般社団法人全国手話通訳問題研究会/一般社団法人日本手話通訳士協会/社会福祉法人全国手話研修センター/NPO法人CS障害者放送統一機構/NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会/全日本ろう学生懇談会/一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会/社会福祉法人全国盲ろう者協会/NPO法人全国要約筆記問題研究会/日本聴覚障害者学生高等教育支援ネットワーク/日本障害フォーラム/社会福祉法人日本身体障害者団体連合会/社会福祉法人日本盲人会連合/全国手をつなぐ育成会連合会/特定非営利活動法人日本障害者協議会/社会福祉法人全国社会福祉協議会/公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会/株式会社講談社 (順不同)